

関係各位

子供たちに笑顔を！

奥野史子 石垣島トライアスロンに挑戦！

拝啓 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、弊社所属のバルセロナ五輪、シンクロナイズドスイミング銅メダリスト奥野史子が、2013年4月14日(日)、誕生日当日に石垣島で行われるトライアスロンの大会に出場することになりました。

(石垣島トライアスロン 2013 公式 HP <http://ishigakijima-triathlon.jp/>)

1992年バルセロナ五輪にてソロ、デュエットで2つのメダルを獲得。1994年ローマで行われた世界水泳選手権ではそれまでのシンクロの概念を覆す、女の情念を表現した「昇華・夜叉の舞」で日本人初のソロ銀メダルを獲得。その後の日本のシンクロの流れを変えた演技となりました。

1995年現役を引退後、メディア等にてスポーツコメンテーターの仕事を開始。1998年の夏休みに訪れたラスベガスで、公演中のシルク・ドゥ・ソレイユ「O」(オー)を観劇し、感銘を受け、翌年にシルク・ドゥ・ソレイユのトライアウトに参加。厳しいオーディションをクリアし、初の日本人として2000年から同公演に出演を果たす。その後2002年に北京五輪陸上銅メダリストの朝原宣治氏と結婚。第1子出産の為に帰国。以来、子育て、そしてアスリートの妻として本格的な運動からは遠ざかっておりました。

今回、友人からの勧めもあり、改めて「楽しむスポーツ」を始めようと、トライアスロンへの出場を決意。そして、そのアスリート魂にまた火が灯りました。

現役時代とは違い、スポーツを楽しむとともに、自分が頑張る上で何か人の為にならないか？そう考えた時に以前から応援している、小児がんと闘う子供、家族を応援している団体「チャイルド・ケモ・ハウス」<http://www.kemohouse.jp/>の支援に繋がりたい、そう思い「ジャストギビング」<http://justgiving.jp/c/8679>を通じて皆様に寄付をお願いすることになりました。

現在、大会に向けて日々トレーニングを重ねております。

是非、皆様方の媒体にて奥野の挑戦をご紹介いただき、多くの方に小児がんと闘う子供、そして家族の方への支援を賜りたいと存じます。誠に勝手ではありますが、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

奥野史子

■奥野史子(おくのふみこ) スポーツコメンテーター



本名：朝原史子(あさはらふみこ)

京都府出身。同志社大学院修了。1992年バルセロナ五輪シンクロ銅メダリスト。1994年ローマ世界水泳選手権では笑わないシンクロ「昇華・夜叉の舞」で芸術点オール10点満点を獲得し、同大会、五輪を通して日本人初のソロ銀メダルを獲得。

その後のシンクロ界の流れを変えた演技となった。

引退後は自らプロのパフォーマーとしてラスベガスで公演中のシルク・ドゥ・ソレイユ「O」(オー)にも出演。

現在はテレビ、ラジオまた執筆活動等メディアで活躍中。

2002年、当時陸上短距離日本代表の朝原宣治氏(2008年北京五輪陸上男子4×100mリレー銅メダリスト)と結婚。3児の母。京都市教育委員。

■日 程 2013年4月12日(金)石垣島入り 4月14日(日)大会参加

※大会詳細は大会 HP にてご確認願います。

■本リリースに関するお問い合わせ先■

株式会社パシフィックボイス 担当：櫻井こうめい TEL03-5474-8330 FAX：03-5474-8331

Mail sakurai@pacvoice.com (櫻井090-8721-4781)